

愛知淑徳大学国語国文

第 42 号

万葉集の「根」
——借訓字を中心に——

宮川晴加 (1)

古来風体抄の古筆切
——中世期の享受本文として——

日比野浩信 (23)

『榻鳴曉筆』における鴨長明著作の受容の様相
——『無名抄』と『発心集』の比較から——

小椋愛子 (55)

「遠野物語」、筆記された物語と「親しく」聞いた物語
——葉舟怪談における「装い」としての声——

松原久子 (73)

谷崎潤一郎『細雪』論
——「家運の挽回」を断念する鶴子——

小林珠子 (91)

里見弴の小説と小津安二郎の映画
——「会話」をめぐる「借用」の問題——

鈴木裕人 (105)

小川洋子『ミーナの行進』が描く一九七二年
——「模像」のノスタルジ——

佐々木亜紀子 (131)

北朝系文学者による「六朝懐古詩」
——盧思道と李百薬を中心に——

住谷孝之 (151)

東海地域の言語実態調査(1)
第一次計画と2018年度調査結果

吉田健二 浅井麻椰 井上彩花
 臼井裕之 宇津宮大我 小川満梨奈
 楠元梨子 桑原柚貴 河野真弓 鈴木絢子
 坂野旭宏 有川可菜 岡田優希 佐波知幸
 平井結衣 福澤彩果 安井佐織

(208)

修士論文・卒業論文題目

国文学会活動報告

(215) (209)